

社会にインパクトある研究

D. 世界から敬愛される国づくり



D-1 創造する日本学：
世界が共感する「日本文化」の創造的価値の探求

研究・実践集

近代日本の空間と移動

グローバル化で生じる移民や難民の問題をどうするか



- 近代における日本人の海外移住・進出の歴史をひも解き、その諸問題を国際共同研究で探求する
- 現代社会につながる普遍性を求める



移民や難民、文化接触の問題への解決策を提示

開発・推進

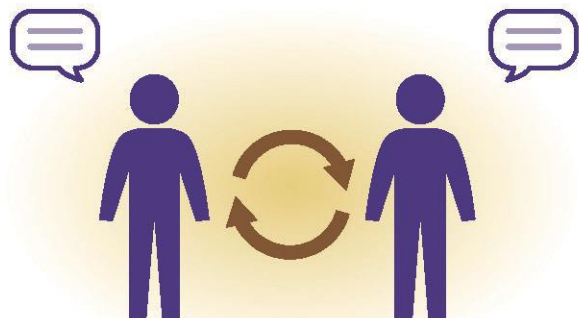
東北大学文学研究科 安達研究室

参考資料等

東北大・翰林大 国際学術SYMPOSIUM 2017 「帝国日本の空間と移動 제국일본의 공간과 이동」

日本語から見た日本文化

日本文化の基層にある調和とは何か



- 日本文化の基層にある「配慮」という日本に固有の文化価値を日本語の解析から明らかにす
- 中国や韓国の研究者と共同研究を推進



世界が理解すべき文化価値を創出

開発・推進

東北大学国際文化研究科 小野研究室

参考資料等

東アジア日本研究者協議会 2016, 韓国、仁川

資料調査に基づく東北地方史の研究

東北文化を海外の日本研究にどう
発信するか



- 東北地方の資料を収集・整理し、独自の思想や文化を掘り起こして発信する
- それらの資料を海外の研究者にも利用可能にする



東北文化を世界に発信

「狂歌」を用いた江戸時代の地域文化リーダーの析出

忘れられた地域の文化リーダーの存在を明らかにする



再興された地域の狂歌作者「千代垣素直」の碑
(上越市直江津、五智国分寺境内)

- 本名ではなく「狂歌号」という雅号を用いて作品の機知を競った「狂歌」という文芸資料を用いて地域の文化リーダーを発掘・再評価する方法を開発
- 狂歌の作者達はおおむね既知の地域の政治的・経済的リーダーであるが、従来、知られることのなかった彼らの個人的な志向や学芸生活の実態が「狂歌」を通じて明らかになる

地域文化の再発見

開発・推進

東北大学文学研究科 高橋章則研究室

参考資料等

日本人の言語観と言語教育

日本では「ことば」はどのようにとらえられ、どのように教えられてきたか



- 日本人の言語観・国語観を歴史的にたどることで、日本人の精神史を探求する
- フィロロギー（文献学）という視点から日本と西洋の言語研究の方法を比較する



言語と文化の多様性を考える
ヒントを提示

開発・推進

東北大学国際文化研究科 江藤研究室

参考資料等

Thammasat University - Tohoku University 2016 “International Symposium for Japanese Studies” タイ、バンコク

日本と「日本」のあいだ—新しい方法論の試み

学術ネットワーク「支倉リーグ」
を活用し「日本」のイメージを浮
かび上がらせる



- アジアの磁器、浮世絵などが西洋の感性の形成にどのようなインパクトを与えたのかをみていくことは、単なる影響問題ではなく、感性の相互形成の問題として重要である
- 学術ネットワーク「支倉リーグ」を活用し、内外の研究者と知の創成の現場を共有し、現代的課題の解決に向けた新たな人文学研究の枠組みを作る

感性学としての日本学の方法を考察

開発・推進

東北大学文学研究科 尾崎研究室

参考資料等

近世中国の制度と東アジアの秩序

中国明清王朝における対日「交流・対応」の制度的論理とは何か



- 近世における両国交流の諸相を残された公文書から分析する
- 文書の様式、官印、そして用語に着目し、その背景にある制度の論理を明らかにする



現代における日本と中国の関係を見つめ直す手掛かりを提示

開発・推進

東北大学文学研究科 大野研究室

参考資料等

「宗教」からみた日本文化史

明治期において言葉として成立する「宗教」を通して、近代日本の諸相を検討する

- 「日本人」のアイデンティティ形成に対する「宗教」の役割を考える。日本の事例を中心として、宗教概念が近代の枠組で広がる過程をグローバル・ヒストリーの視点から追及する



近代的概念の普遍的性格という問題
への提言

開発・推進

東北大学国際文化研究科 クラウタウ研究室

参考資料等

International Symposium, “How to learn: Nippon/Japan as object, Nippon/Japan as method” Florence, 2015